

北九州市及び浜松市のスタートアップ支援の取組

1 内閣府「スタートアップ・エコシステム拠点都市」への選定

【選定タイプ】

○北九州市:北九州市単独で選定

○浜松市:愛知県・名古屋市とともに選定

2 目指す姿

○北九州市:

強みの「環境、ロボット」やDX分野を中心にテック系エコシステム拠点都市を形成。

○浜松市:

ものづくり企業の高度な技術と、スタートアップの革新的アイデアの融合により、新たなイノベーションの連鎖を生み出すことで、輸送用機器に次ぐ基幹産業の創出を目指す。

3 創業支援施設

○北九州市:COMPASS 小倉

指定管理者「COMPASS共同事業体」(4社:寶結(株)、(株)ATOMica、GMOクリエイターズネットワーク(株)、(一社)まちはチームだ)が運営。

- ・コワーキングスペース及びスモールオフィス等の設備
- ・インキュベーションマネージャー(常駐)による伴走支援
- ・独自の支援プログラム

(マッチング支援やアクセラレーションプログラムの実施)



○浜 松 市:サテライトオフィス

首都圏を中心とした大都市圏スタートアップのサテライトオフィスを誘致。
ものづくりに特化した産業技術との融合を図る。

- ・Start Up Cross Hamamatsu(浜松市内)
- ・天竜トライアルオフィス(中山間地域)
- ・舞阪サテライトオフィス(浜名湖地域)



4 スタートアップ支援の取組

○北九州市

機運醸成	研究開発フェーズ (シード期)	事業化フェーズ (アーリー期以降)
<p>起業環境の整備【大学の取組】</p>	<p>アクセラレーションプログラム【民間の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COMPASS小倉アクセラレーションプログラム (シード期) 創業支援施設COMPASS小倉独自の創業期のスタートアップに対する伴走支援プログラム ・グローバルアクセラレーションプログラム(GAP-K) (アーリー期以降) 成長が期待されるスタートアップに対する民間14社(安川電機等)の実行委員会による伴走支援プログラム 	
<p>小中学生向けアントレプレナーシップ教育</p>	<p>資金支援・伴走支援(企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業) ※制度設計中</p> <p>市内スタートアップに特化した支援プログラムと、イノベーションの創出支援プログラムによる資金支援・伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内スタートアップ成長支援プログラム: 研究開発・実証、事業展開、人材確保に対する支援 ・イノベーション支援プログラム : 行政課題解決や市内企業との協業に対する支援 	
<p>スタートアップと学生の交流会</p>	<p>課題解決・オープンイノベーション ((仮称)イノベーション共創プラットフォーム) ※制度設計中</p> <p>北九州市の行政・地域・企業が抱える課題を集約化・見える化・共有化し、スタートアップとマッチング</p>	
	<p>起業家育成(スタートアップ起業家育成サポート事業) ※制度設計中</p> <p>民間が主体となって行う、起業家を育成するアクセラレーションプログラムに対する補助</p>	<p>公共調達支援(トライアル発注)</p> <p>市が認定した新商品・サービスをトライアル的に購入して評価・フィードバックを実施</p>
	<p>起業活動支援プログラム【大学の取組】</p> <p>GAP資金による研究シーズの事業化支援</p>	

①COMPASS 小倉アクセラレーションプログラム

- ・ 市内からユニコーンに成長するスタートアップを輩出するためにCOMPASS 小倉が独自に行う支援プログラム。
- ・ アイデア段階の企業を選抜し、ビジネスに精通した各専門家が短期集中型で伴走支援を実施。
- ・ 市内の創業支援ネットワークを活用し、ビジネスマッチングや資金調達等をサポート。

②グローバルアクセラレーションプログラム

- ・ 市内の大手企業や金融機関 14 社が組織した実行委員会による民間主体の支援プログラム。
- ・ 事業拡大が期待されるスタートアップに対し、専門家による伴走支援や投融資・市内企業との協業に向けた支援を実施。

③企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業 ※令和6年度から開始

- ・ 市内スタートアップの研究開発、実証、事業展開、人材採用に対し、資金支援・伴走支援を行う「市内スタートアップ成長支援プログラム」を創設。
- ・ スタートアップによる行政課題の解決や市内企業との協業に対し、資金支援・伴走支援を行う「イノベーション支援プログラム」を創設。

④(仮称)イノベーション共創プラットフォーム ※令和6年度から開始

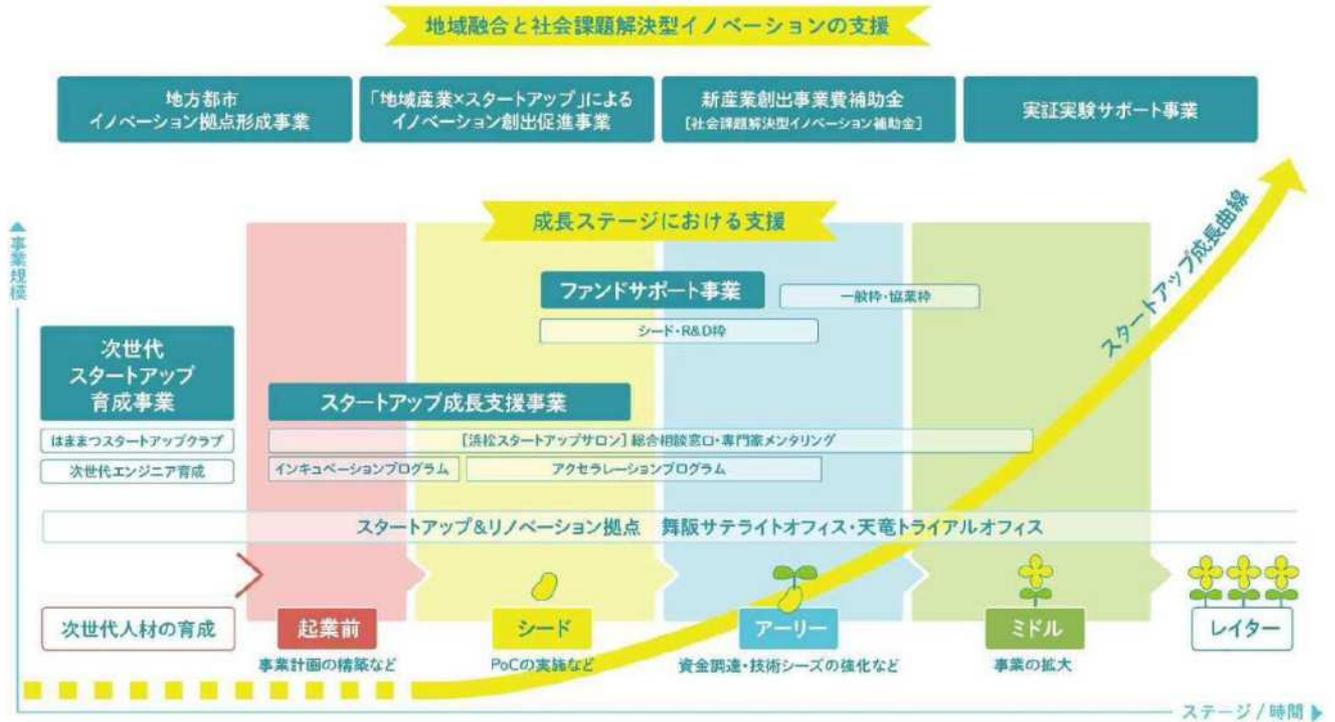
- ・ 北九州市の行政・地域・企業が抱える様々な課題を、プラットフォームに集約化・見える化・共有化し、スタートアップが有する優れた技術・斬新なビジネスアイデアや、機動性・柔軟性の高さを最大限活用して解決するためのプラットフォームを構築。
- ・ 課題とスタートアップを、コーディネーターがマッチング。

⑤認定ベンチャーキャピタル制度

北九州市が認定したベンチャーキャピタル(現在26社)が、スタートアップ支援施策に協力。

- ・ スタートアップの資金調達の促進
- ・ 有望なスタートアップの紹介
- ・ スタートアップ支援施策に係る助言 等

○浜松市



①ファンドサポート事業

市内スタートアップにとってアクセス可能な資金調達手段を増やすため、ベンチャーキャピタル等(現在54社)が、市内スタートアップに投資しやすい環境整備を行う。



②実証実験サポート事業

今後の飛躍的な成長が期待されるスタートアップ等が浜松市内で実証実験を実施する際に、各種支援を行う。



5 スタートアップ都市推進協議会

①設立趣旨

スタートアップ都市づくりに先進的に取り組む自治体が、地域の個性を生かしたロールモデルとなり、経済関係団体とも連携し、日本全体をチャレンジが評価される国に変えていくことをめざす。

②設立年月日 平成25年12月23日

③加盟自治体(11自治体)

No.	自治体		首長	役職
1	福岡県	福岡市	高島 宗一郎	会長
2	静岡県	浜松市	中野 祐介	副会長
3	茨城県	つくば市	五十嵐 立青	副会長
4	青森県	青森市	西 秀記	監査役
5	千葉県	千葉市	神谷 俊一	会員
6	大分県	別府市	長野 恭紘	会員
7	熊本県	熊本市	大西 一史	会員
8	宮城県	富谷市	若生 裕俊	会員
9	福岡県	北九州市	武内 和久	会員
10	富山県	高岡市	角田 悠紀	会員
11	鹿児島県	鹿児島市	下鶴 隆央	会員

④主な活動内容

・「JAPAN STARTUP SELECTION」

自治体のスタートアップと首都圏企業等とのマッチングイベント

・自治体間でのノウハウ共有

スタートアップ支援施策やインキュベーション施設に係る情報交換等

・一般社団法人「熱意ある地方創生ベンチャー連合」との連携

企業・自治体・国等が参加する「地方創生ベンチャーサミット」の共同開催

6 KPI

○北九州市

KPI	現状	目標値
スタートアップのイグジット (株式上場・事業売却)件数	—	3件 (令和6～10年度)
スタートアップの資金調達額	—	100億円 (～令和9年度)
スタートアップの誘致件数	—	50社 (～令和9年度)

○浜松市

KPI	現状(令和4年度)	目標値(年間)
スタートアップの創業数	22社	30社
スタートアップ関連イベントの 開催数	299回	300回
市内スタートアップの 資金調達額	22.15億円	30億円
市内スタートアップと企業・ 大学等との新規連携件数	33件	75件
市外からのスタートアップ 進出数	19社	12社